

事業報告

講座名	いきいき環境塾 エコっこスクール2008		
日時	平成20年7月28日(月)～29日(火)		
場所	山口県セミナーパーク セミナー1 ほか	参加者数	34人

この講座は、1泊2日の見学・体験学習を通じて、環境を大切にする気持ちを育み、家庭や地域で一層環境に配慮した行動をとれるようになってもらうことを目的として開催したもので、今回は小学1年生から6年生まで34人の参加があった。

1 日程

別紙1のとおり

2 活動内容

《1日目》

(1) 株式会社マツダ防府工場見学

総務2階の会議室で、マツダ工場やマツダの作っている水素ロータリーエンジン車の説明を聞き、ビデオで車づくりの流れについて学習した。

参加者からは、「マツダが作っている一番早い車は何ですか」「マツダはモデル事業所になっているとテレビで聞きましたがそのことについて教えてください」などの質問が出た。防府工場は、効率のよい「田の字型」の構成になっていることを教えてもらった。

次に、2班に分かれて組立工場へ入り、要所所で社員の方の説明を聞きながら車が完成するまでの行程を見学した。見学コースの途中には、マツダの環境への取組を説明するパネルや、ペットボトルのリサイクルで作られた作業着の現物なども展示してあった。塗装もない部品の状態から車体が完成して試乗が行われるところまで全長1km程度のコースを、興味深く見学できた。



マツダの新しい水素ロータリーエンジン車。水素航続距離が、RX-8ハイドロジェンREに比べて2倍の200kmに伸びたとのこと。

(2) 生き物調査

セミナーパークに到着後、宿泊室に荷物を運び、休む間もなく自然ふれあいゾーンで水辺の生き物調査を行った。

班ごとに池の別々の場所からすくった水草や堆積物をバットに入れ、スポイトやピンセットを使って生きものをシャーレに取り出した。魚や水生昆虫など、様々な生き物が見つかった。西日が強く非常に暑い中の作業で大変だったが、皆がんばって最後までやった。



☆ちょっと一息 皆そろって楽しい夕食 (セミナーパーク食堂にて)



(3) 夜の学習会：星空観察

夜8時から、セミナーパークの中庭で星空観察を行った。指導者は「菊川町星を観る会」の大呑さんと、環境学習推進センターの徳永コーディネーターの2人。指導者が持参された大きな望遠鏡でまず木星を見せてもらった。木星の環（大赤班）がくっきり見えて、参加者は大喜びだった。

星空観察は、セミナーパークで同時期に開催されていた「しょういん学校」の参加者（小学5・6年生）と一緒に、「全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）」にも参加することとした。観察結果は下記のとおり。

★ 肉眼による天の川の観察

白鳥座付近	見えた
たて座付近	見えた
いて座付近	見えた

★ 双眼鏡によること座の観察（5名実施）

使用した双眼鏡 倍率：10倍 口径：60mm

観察された最も暗い星の等級 9.1等級

《2日目》

(1) ビオトープの生き物マップづくり

昨日の生き物調査の結果を、模造紙を使って大きなマップにまとめた。
見つかったものの中では、ヤゴの種類が多かったことがわかった。



(2) 地球温暖化の学習

生き物マップづくりに続いて、地球温暖化クイズで温暖化の学習をした。



日頃から子どもエコクラブで活動していて、環境に関心のある参加者ですが、
ちょっと難しかった？

(3) 秋吉台エコ・ミュージアムと大正洞での学習

午後は秋吉台エコ・ミュージアムの田原義寛さんの御指導で、秋吉台の自然や大正洞の学習をした。

秋吉台エコ・ミュージアムの館内を説明を受けながら見学し、大正洞の成り立ちや、洞の生き物の特性などについて学んだ。洞の中の生き物は、暗いので目が退化しており、また「美白」だということなどを教わった。その後、館内2階にある「体感シアター」で秋吉台の四季の映像を見た。



(秋吉台エコ・ミュージアムの展示物の見学)



秋吉台では、草原を維持するため、毎年山焼きを行っている。山焼きをしないで放っておくと、あっという間に森になってしまう。この山焼きの前には、火が森に入らないように火道切りという重要な作業があるが、重労働なので大変とのこと。維持が大変なため、年々草原の面積は減少している。

体感シアターで、秋吉台の山焼きのシーンを見ているときに実際に煙の匂いが流れてきて皆びっくりしていた。田原さんから、木酢液を使って再現していると種明かしがあった。



(体感シアターで田原さんの説明を聞く)

最後に皆で大正洞に入った。外の気温は34度だが、洞の中は最も低いときには何と13度！涼しいのを通り越して寒いほどだった。田原さんのお話では、洞の中は温度が一定なので、冬は逆に暖かく感じるとのこと。

途中、コウモリが子育てをしているところを見せてもらった。よく見ると足元には小さなふんがたくさん落ちており、コウモリの鳴き声がとてもよく聞こえた。

大正洞は3階建てくらいの高低差があるそうだが、出口付近で、洞の天井に木の根が見えているところを教えてもらった。地表にとっても近いことがわかる。





最後に、エコ・ミュージアムで閉講式をして、プログラムが全て終了した。

2日間を通じて、秋吉台・大正洞・生き物観察池・夜空などのさまざまな自然に触れ、そこで生きる動植物を観察し、一方で企業や地域の人々の環境や自然を守る取組を学んだ。

大変暑い中、途中で少し体調を崩す参加者もいたが、盛り沢山の内容に皆よくがんばって参加してくれた。

*アンケート結果 別添のとおり